

女性活躍推進事業【名張市】

地域の実情と課題

令和2年度に実施した男女共同参画に関する市民意識調査における「男女の地位が平等になっていると思うか」という問いに対して、社会全体を通して男性の方が優遇されていると感じている市民の割合は54%と約半数以上となっており、まだまだ男女の固定的役割分担意識が多いことがわかりました。また、条例に基づき「市民等の男女共同参画の取組を支援する総合的な拠点」として設置されている「名張市男女共同参画センター」についても、市民等からの認知度は低いため、情報発信機能・ネットワーク機能を強化し、地域における男女共同参画を推進していくことが急務となっています。

事業の特徴

センター情報紙の編集員を募集し、地域で活動している女性のロールモデルとして、農業や防災などこれまで主に男性が担ってきた分野や、市民活動実践者、起業家など、地域の次代を担う女性を更に発掘し、インタビュー及び原稿執筆を行います。これを、男女共同参画にかかる情報発信手段として名張市男女共同参画センターの情報紙及びホームページ等へ掲載し、公共施設等へ配架します。これにより、地域における女性活躍の見える化を図り、男女の固定的な役割分担意識を見直すための啓発及び職業上の女性活躍推進の機会とします。

今後の課題

この事業の中で、センターと取材対象者や編集員との関係性を築くことで、地域における男女共同参画推進の関係者づくりに取り組んできました。今後も関係者の輪を広げていくことで、センターの情報発信機能及びネットワーク・交流機能の強化を図り、男女共同参画推進事業を地域に広げていく必要があります。

目的・目標

令和2年度に引き続き、地域で活動している(地域で活動していきたいと考えている)女性のロールモデルとして、農業や防災などこれまで主に男性が担ってきた分野や、市民活動実践者、起業家など、地域の次代を担う女性(職業上の女性の活躍に資する内容)を更に発掘し、紹介する。これにより、地域における女性活躍の見える化を図り、男女の固定的な役割分担意識を見直すための啓発及び職業上の女性活躍推進の機会とする。また、センター情報紙の編集員を募り、取材・編集に携わってもらうことで、地域における男女共同参画推進の関係者づくりを広げ、センターの情報発信機能及びネットワーク・交流機能の強化を図っていくことで、地域における男女共同参画を推進していきます。

事業の効果

読者の理解度(アンケートの「参考になった」平均値)については、70%となり、目標を達成した。アンケートでの意見にも「子育てをしている方ならではの視点で、もっと多くの人に知ってもらいたい」「好きな仕事を続け、家庭と両立できるのは、パートナーや地域、職場の理解と協力があるからということがよく分かる内容でした」などの意見があり、地域における女性活躍の見える化、職業上の女性活躍推進に寄与したと考えられます。

連携団体

- ・名張市男女共同参画センター
- ・三重県

事業の概要

Special Interview 06

「家族時間」とは「自分らしくあること」ではないかと私は考えています。専心して、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩んでいる女性が増えたらいいと思います。

美山 莉音さん
HIT (デザイン/インテリア)

profile
2014年、美山莉音さんは、結婚を機に専業主婦からフリーランスのデザイナーとして独立。現在は、美山デザイン事務所を運営しています。



お仕事のことを教えてください。

「デザイン」とは多岐に、広範囲の知識が必要で、また、クライアントの要望や、予算の制約など、様々な条件の中で、最適なデザインを提案することが求められます。また、クライアントとのコミュニケーションも非常に重要です。

お仕事の魅力を教えてください。

「デザイン」は、自分の得意なことをやる、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

Special Interview 07

「家族時間」とは「自分らしくあること」ではないかと私は考えています。専心して、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

水口 麻さん
HIT (デザイン/インテリア)

profile
2014年、水口麻さんは、結婚を機に専業主婦からフリーランスのデザイナーとして独立。現在は、水口デザイン事務所を運営しています。



お仕事のことを教えてください。

「デザイン」とは多岐に、広範囲の知識が必要で、また、クライアントの要望や、予算の制約など、様々な条件の中で、最適なデザインを提案することが求められます。また、クライアントとのコミュニケーションも非常に重要です。

お仕事の魅力を教えてください。

「デザイン」は、自分の得意なことをやる、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

Special Interview 08

「家族時間」とは「自分らしくあること」ではないかと私は考えています。専心して、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

重森 舞さん
一般社団法人 民間HIT!

profile
2014年、重森舞さんは、結婚を機に専業主婦からフリーランスのデザイナーとして独立。現在は、民間HIT!を運営しています。



お仕事のことを教えてください。

「デザイン」とは多岐に、広範囲の知識が必要で、また、クライアントの要望や、予算の制約など、様々な条件の中で、最適なデザインを提案することが求められます。また、クライアントとのコミュニケーションも非常に重要です。

お仕事の魅力を教えてください。

「デザイン」は、自分の得意なことをやる、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

Special Interview 09

「家族時間」とは「自分らしくあること」ではないかと私は考えています。専心して、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

大和 千夏さん
美張市子育て支援センター 企画 兼 運営

profile
2014年、大和千夏さんは、結婚を機に専業主婦からフリーランスのデザイナーとして独立。現在は、美張市子育て支援センターを運営しています。



お仕事のことを教えてください。

「デザイン」とは多岐に、広範囲の知識が必要で、また、クライアントの要望や、予算の制約など、様々な条件の中で、最適なデザインを提案することが求められます。また、クライアントとのコミュニケーションも非常に重要です。

お仕事の魅力を教えてください。

「デザイン」は、自分の得意なことをやる、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

Special Interview 10

「家族時間」とは「自分らしくあること」ではないかと私は考えています。専心して、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

池田 恭美さん
消防団 消防士

profile
2014年、池田恭美さんは、結婚を機に専業主婦からフリーランスのデザイナーとして独立。現在は、消防団を運営しています。



お仕事のことを教えてください。

「デザイン」とは多岐に、広範囲の知識が必要で、また、クライアントの要望や、予算の制約など、様々な条件の中で、最適なデザインを提案することが求められます。また、クライアントとのコミュニケーションも非常に重要です。

お仕事の魅力を教えてください。

「デザイン」は、自分の得意なことをやる、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

Special Interview 11

「家族時間」とは「自分らしくあること」ではないかと私は考えています。専心して、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

江南 登美さん
一般社団法人 民間HIT!

profile
2014年、江南登美さんは、結婚を機に専業主婦からフリーランスのデザイナーとして独立。現在は、民間HIT!を運営しています。



お仕事のことを教えてください。

「デザイン」とは多岐に、広範囲の知識が必要で、また、クライアントの要望や、予算の制約など、様々な条件の中で、最適なデザインを提案することが求められます。また、クライアントとのコミュニケーションも非常に重要です。

お仕事の魅力を教えてください。

「デザイン」は、自分の得意なことをやる、楽しく、できる。自分の得意なことをやる。そんな風に自分らしく人生を歩いている女性が増えたらいいと思います。

令和2年度に引き続き、地域で活動している女性のロールモデルとして、農業や防災などこれまで主に男性が担ってきた分野や、市民活動実践者、起業家など、地域の次代を担う女性を更に発掘し、インタビュー及び原稿執筆を行いました。これを、男女共同参画にかかる情報発信手段として名張市男女共同参画センターの情報紙及びホームページ等へ掲載し、公共施設等へ配架しました。これにより、地域における女性活躍の見える化を図り、男女の固定的な役割分担意識を見直すための啓発及び職業上の女性活躍推進の機会としました。また、令和3年度は、名張市経済好循環推進協議会等と連携しながら、センター情報紙の編集員を募り、取材・編集に携わってもらうことで、センターと取材対象者や編集員との関係性を築き、地域における男女共同参画推進の関係者づくりを広げ、センターの情報発信機能及びネットワーク・交流機能の強化を図りました。アンケートでの意見にも、「子育てをしている方ならではの視点で、もっと多くの人に知ってもらいたい」「好きな仕事を続け、家庭と両立できるのは、パートナーや地域、職場の理解と協力があるからということがよく分かる内容でした」などの意見があり、地域における女性活躍の見える化、職業上の女性活躍推進に寄与したと考えられます。